

4 アルゴクラブの主要な教材

アルゴ (algo)

アルゴクラブのメイン教材

数字が書かれた白黒合計24枚のカードを用い、さまざまな条件から相手のカードを推測する思考ゲームです。

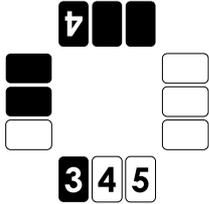
- 柔軟な算数センスが身に付き、数理的な思考力が向上します。
- 2つの基本ルールを応用することで、難易度や人数に合わせた対戦が行え、自分で問題を作成することもできます。
- 算数オリンピック委員会、ピーター・フランクル、東京大学数学科学生が開発した、カードゲームです。



●やってみませんか? 詰めアルゴ

例 (子どもが作成しました)

1から6までの白いカードと、1から6までの黒いカードの合計12枚があり、手前のカード3枚と、向かい側の1枚だけが分かっています。伏せられたカードの数字を当ててください。

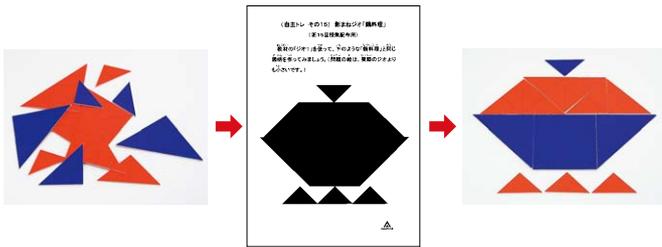


- 【並べ方のルール】 ●数の小さいカードが、左側になるように並べます。
●黒と白の同じ数字の場合、黒を左に並べる。

ジオ・1

3種類の大きさの直角二等辺三角形10枚と正方形1枚、合計11枚のピースすべてを使って、影絵と同じに並べる競争をします。

- 平面図形のセンス、構成、再現、イメージする力を磨きます。



影絵と同じに並べましょう。

ピーキューブ

ピーター・フランクル氏監修

制限時間内に、いくつかのピースを組み合わせ、立方体や直方体、見取り図で示された立体を作るゲームです。

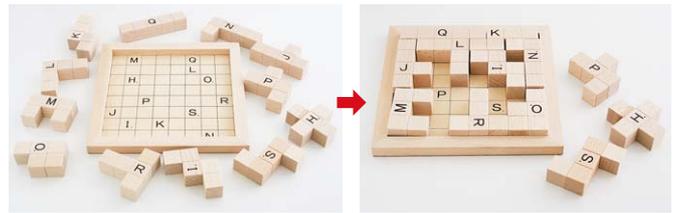


- 手・目・脳を使った作業により、空間認識力、想像力、集中力、立体的な構成力が磨かれます。

アイキューブ

枠内にピースを敷き詰めるゲームです。対戦・競争を通じて、図形をイメージの中で構成・再現・移動・転回する能力を磨きます。

- 平面図形のセンスとともに、空間認識力、三次元的な概念が磨かれます。
- 高濱正伸 (花まる学習会代表、アルゴクラブ特級コーチ、算数オリンピック委員会理事) の指導するアルゴクラブの会員児童が考案したパズルです。

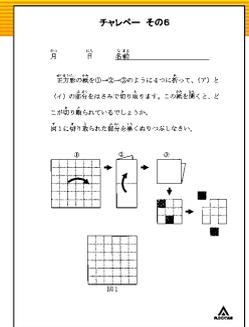


残りのピースを入れましょう

チャレペー

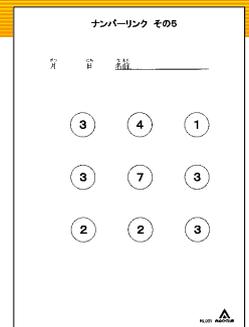
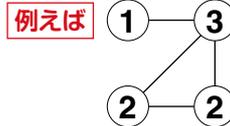
算数オリンピックや中学入試でも出題される問題を集めた、オリジナルプリントです。

- アルゴクラブで身に付けたセンスと能力を試すのに最適な教材です。



ナンバーリンク

○は島、○の中の数字はその島につながる橋の数を表します。橋が交わったり、島を飛び越えたりしないようにすべての橋をかけるゲームです。



アルゴノート

記録の習慣や作文能力、規則正しい生活習慣が身に付き、自己の客観評価を行えるアルゴクラブの必需品です。

